

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 諭

発行日 H30.5.30
発行ナンバー 601号

嬉しい報告①「廣瀬が始球式を」

今年の夏は100回記念大会ということで、いろいろな企画が予定されているそうです。その1つが「始球式リレー」、全国を9地区に分け、9つのボールで始球式をつなぐ、というものです。(確か、甲子園全国大会初日の始球式で10個目のボールを使用、10個のボールが全国をまわったという形にするんだっと思えます・・・)

その企画の南埼玉大会始球式を行うのが、本校3年生女子部員・廣瀬に決まったという連絡を県高野連からいただきました。(県内で2人しか選ばれない、南埼玉と北埼玉)本当に光栄なことです(一足早い南埼玉代表、縁起が良いです)。始球式を行う日時や場所が分かりましたら(開幕試合でというわけではありません)この通信で報告させていただきます。

廣瀬、緊張せずストライクを投げろよ～

嬉しい報告②「ユニフォーム寄贈」

甲子園球場外野スタンド内にある「甲子園歴史館」より連絡をいただきました。その内容はというと・・・第70回大会に出場した時のユニフォームを(展示するため)寄贈していただけないか・・・というもの。ホームページの映像を観てビックリ・・・甲子園常連校のユニフォームばかりが展示されています(観てみて下さい)その中に1度しか出場していない市高のユニフォームを展示していただいていたのでしょうか・・・

展示の開始日が決まりましたら(甲子園での100回大会開始に合わせてと思われる)この通信で報告させていただきます。市高関係者の皆さん、甲子園球場へ行く機会がありましたらぜひ、歴史館にも寄っていただけたらと思います。

野球から学ぶ

恩師・中村先生の合言葉である「野球から学ぶ」私も真似して使わせていただけていますが、私達は野球から学んだことを今後の人生に生かさなければなりませんので、的を射ている言葉だと感じています。先日、私は1年生部員のみを引率して(浦和からは遠い)早大本庄高校に行ってきました。これには「狙い=学んでほしいこと」がたくさんあったことを理解してほしいと思います。

○遠い所へ1年生のみで行く

(本庄駅から30分以上歩いたそうですね・・・)好きでやっている野球、そういう面での保護者の協力には頼らない。高校生とはそういうものです。また、自分達で使用する用具等を自分達で運ぶ(大切に)こういうことも「学び」の1つです。

○1年生のみで解決する

この時期、どうしても上級生に頼りがちになります(上級生に群れてしまう)「集うけど群れず」を学ぶ。また、試合の前後、試合中も1年生のみで様々なことを解決しなければならないことを「学ぶ」。大切なことだと思います。

○あきらめない

1年生のみで戦うという時点で、試合は劣勢になることが多いと思います。でも「あきらめない!」ことを学ぶ。人生も同じです。困難に立ち向かうことを(野球を通じて)学んでほしいと思います。「指導者の想い」通じるでしょうか・・・

嬉しい報告③

テレビ埼玉高校野球100回大会特別企画番組「熱夏の足跡」6月15日(金)(企画最終日)で市高が県優勝した昭和63年・埼玉県決勝「浦和市立対市立川口」が放映されます。(21:55分から5分間)短時間ですので、見逃さずご覧下さい。